

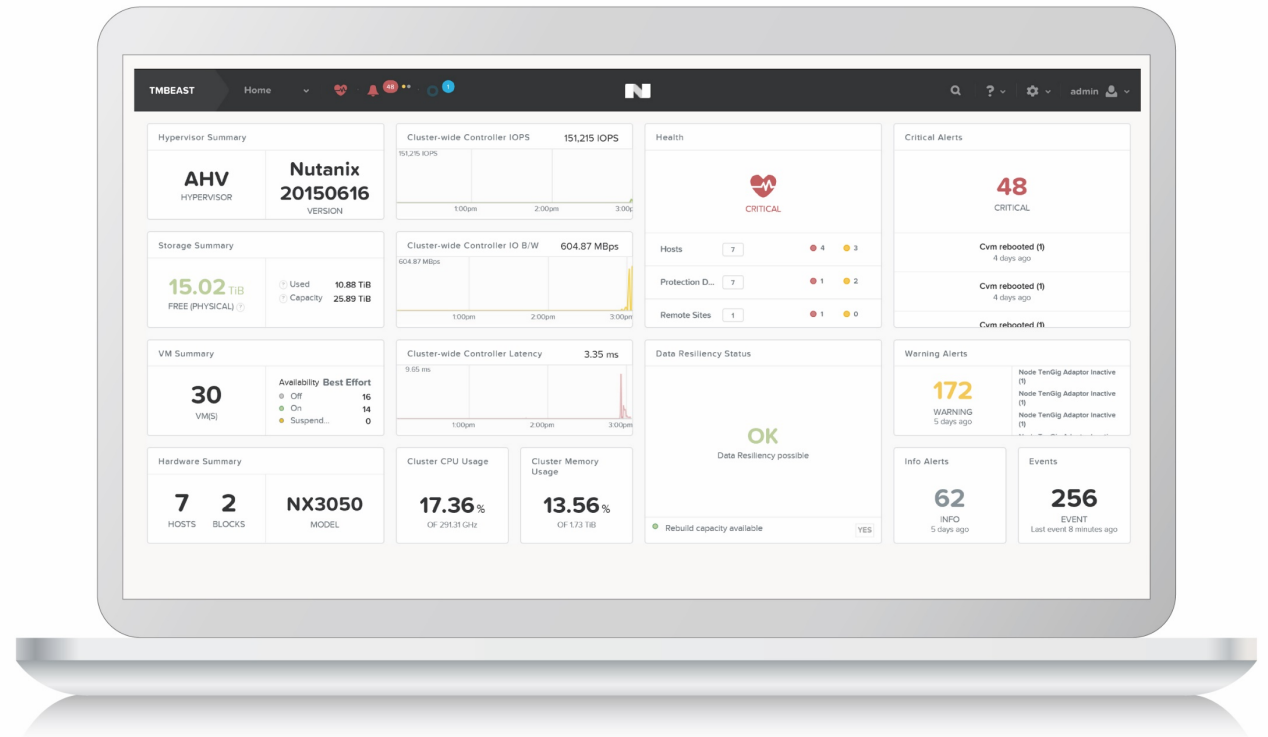


— HCI as a Service —



CLARA CLOUD

導入・運用保守をもっと楽にカンタンに。
Nutanixを月額サブスクリプションで。





社会のボーダーを解決する

CLARA ONLINE

インターネット黎明期である1997年に創業。

ホスティング事業を皮切りに、クラウドインテグレーション、スポーツ領域でのITソリューションサービス提供のほか、アジア・日本双方でのIT・コンサルティングサービス提供を行っています。
近年ではIoTを活用したモビリティ事業への進出などその領域を広げています。

専門性

ITインフラの プロフェッショナル

20年以上に渡る
ITインフラサービスの提供実績

先進性

次の時代を道づくる

Clara Cloudをはじめとした
革新的なサービス

提案力

期待値を超える

単なるモノ売りではなく、お客様の
目的から最善の手段をご提案

— HCI as a Service —



CLARA CLOUD とは

初期費用0円・月額固定

DXに最適なインフラ基盤

クラウドの利便性とオンプレの自由度

Nutanixを月額サブスクリプションで ご利用いただけます。

Clara Cloudは、ハイパーコンバージドインフラ分野のリーディングカンパニーであるニュータニクス社の提供する「エンタープライズクラウド：Nutanix」の利用に必要な、ファシリティ/ネットワーク/運用等の要素を全て網羅し、初期費用0円・固定料金の月額サブスクリプションでご利用いただけるサービスです。高いIOPSを実現し、IaaSの手離れの良さとオンプレミスの自由度を併せ持つ新たな仮想化基盤です。



コロナで半強制的に進んだ、在宅勤務へのシフト

コロナショックにより、様々な会社・業態に半強制的なリモートワーク&テレワーク対応が迫られ、多くの企業が準備が整いきる前に「在宅勤務」にシフトしました。事業継続のため、ビジネスプロセスのオンライン化が迫られ、IT環境の見直しも余儀なくされています。これにより、2025年までの変革を一つの目標としていたデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが、一気に加速したといえるでしょう。

デジタルトランスフォーメーション(DX)

課題 1

ワーク環境(リモートワーク)の整備

- 働き方改革における社内制度整備
- 必要なツールの導入
- 優秀な人材の確保

課題 2

ITを活用したビジネス促進

- 遠隔を前提とした業務やイベントの開催
- 必要なタイミングでのサービス提供
- 新たなチャネルの確保

IT活用の必要性

意識の変化

連携が必要不可欠

課題 3

レガシーシステムの刷新

- ビジネスITとの連携
- 情報の一元化/見える化
- 一枚岩でのITプロジェクト



国としても、コロナでの環境変化を機にデジタル化の加速を要請。

安倍総理

『あらゆる分野でITを積極的に活用しながら、
しなやかで危機に強い社会を構築する』

“ この機会に、しっかりと未来を先取りするような、言わばデジタル・ニューディールを一気呵(か)成に進めていく。ピンチをチャンスに変えていくという発想が必要です。あらゆる分野でITを積極的に活用しながら、しなやかで危機に強い社会を構築するため、言わばデジタル強靱(じん)化戦略を、竹本大臣を中心に、全閣僚が協力して、速やかに取りまとめられるよう、作業を加速していただきたいと思います。

”

令和2年4/22 https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202004/22it_kanmin.html

『2025年の崖』に向けて

2025年までにDXを実施しないと、
国際競争に勝てず、事業継続すら危うい状況に。

2018年9月に経済産業省が発表した「DXレポート」。対策をしないと、2025年には
事業継続が困難な状況に追い込まれてしまいかねません。

- ✓ 事業に占めるIT割合が上昇
- ✓ サイバーリスク、高額なレガシーシステムの更改改修費
- ✓ デジタル競争の敗者
- ✓ IT人材の不足
- ✓ 様々なレガシーシステムのサポート終了が2025年まで続く

なぜ今、DXなのか？

2025年の崖を乗り越えるには、
“守りのIT” レガシーシステムの更改を進め、
“攻めのIT” 体質への転換、競争力強化が急務

2025年の崖は、個々の企業の経営課題に、経済産業省が日本全体の課題として警告するほど大きな問題となっています。レガシーシステムの保守運用にリソースを取られている日本企業は、売り上げを生む、攻めのITへの投資を行える体質転換が迫られています。

— 守りのIT —
効率化・コスト削減

— 攻めのIT —
ビジネスモデル変革・価値の創出



オンプレミスとクラウドの 適切な使い分け



DXを実現するために、レガシーなITの仕組みを見直す必要があります。
オンプレミスとクラウドをどのように使い分ければ良いのかをご説明します。

「モード1」 「モード2」という考え方

米国調査会社ガートナー社が2015年に提唱したバイモーダルIT理論。

システムで求められる要件は、守りのIT「モード1」と攻めのIT「モード2」に大別することができます。

モード1		モード2
守りのIT（コーポレートIT）	通称	攻めのIT（ビジネスIT）
情報システム部（社内向け）	主な対象	事業部門（社外向け）
開発や運用コストをいかに下げるか	投資	新たなビジネスの種や強みをつくる
ITで業務をいかに効率化するか	目的	ITでいかに事業を拡大させるか
ウォーターフォール	方式	アジャイル・ハイブリッド
安定・確実・可用性を重視	方向性	環境変化への対応や柔軟性を重視

すべてに万能なインフラは存在しません

アプリケーションの用途により、パブリッククラウドが最適なものもあれば、
オンプレミスが最適なものも存在します。

≠ 100%

パブリッククラウド大手でもオンプレミスのサーバサービスをリリース。

パブリッククラウド大手のAWSでも、クラウド100%ではなく、オンプレミスのサーバサービス(Outposts)をリリースするなど、オンプレミスを見直す動きも出てきています。

73%

73%がパブリッククラウドから
オンプレミスに回帰というデータも。

Nutanixが発表した企業のクラウド導入動向に関する調査「Nutanix Enterprise Cloud Index 2019」によると、一部のアプリケーションをパブリッククラウドから再度オンプレミスに移行させていた回答者が73%に上りました。

<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1911/20/news035.html>

注目されるハイブリッドクラウド

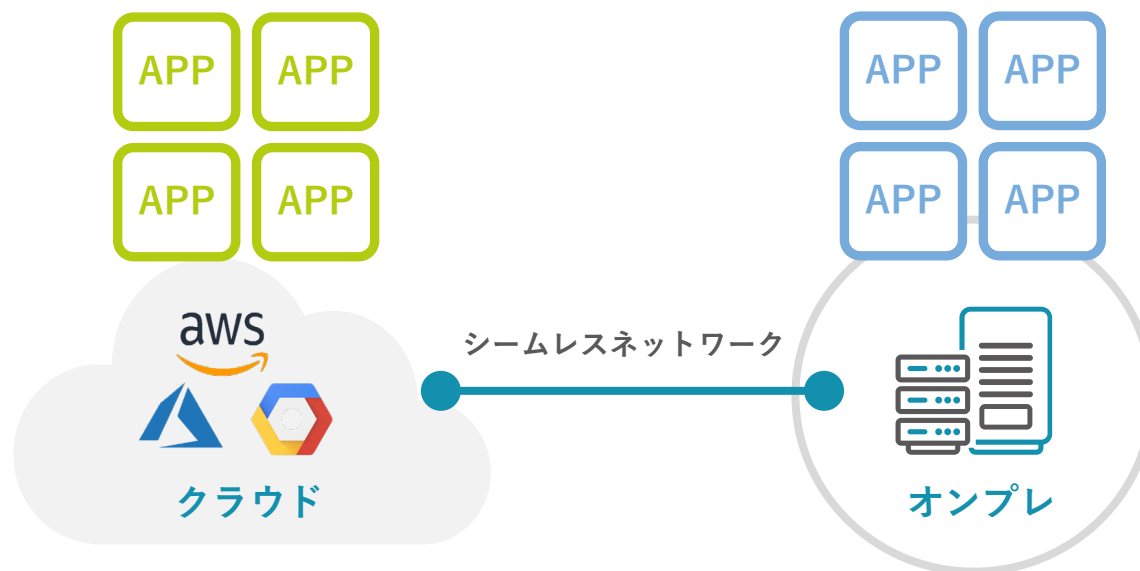
すべてに万能な
インフラはない



アプリケーションごとの使い分けがカギ！

すべてに万能なITインフラは存在しません。

ハイブリッドクラウド環境を用意し、アプリケーションの特性に応じた適切なインフラを使い分けることがDX実現のために求められます。



「モード1」「モード2」の移行インフラ選択

どのインフラを選択すべき？

各企業で業態、規模、利用システムが異なるため、すべてに適切な正解はありません。

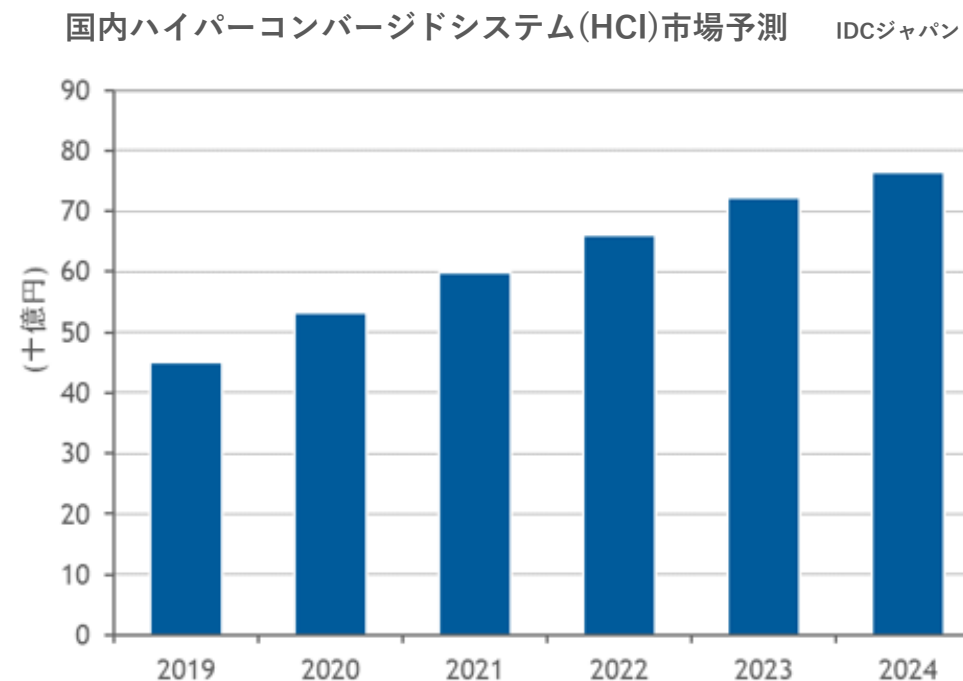
「モード1」「モード2」に分け、ご利用のアプリケーションにより適切なプラットフォームを選択されることをおすすめいたします。

モード1		モード2	
メインフレーム 基幹系システム オープンシステム これまでのSOA	既存システム 移行 オンプレ？ クラウド？	顧客サービスサイト EC Fintech ビックデータ IoTサービス アナリティック ロボティクス	新規構築 (オンプレ) クラウド サーバレス マイクロサービス 機械学習・AI IoT ブロックチェーン
情報系 業務系	サービスへ移行 SaaS		

HCIという新たな選択肢

幅広い産業分野で導入が拡大、
サーバ仮想化環境向けのITインフラとして
標準的な選択肢に。

国内のHCI市場予測を見ると、中長期ではデジタルトランス
フォーメーション(DX)によって作り出される次世代ワーク
ロードへの対応や、DXに対応するITインフラとして俊敏性や柔
軟性が向上、**マルチクラウドを統合的に管理するハイブリッドク
ラウドの実現を目的に**、普及が拡大する見込みとされています。



https://www.publickey1.jp/blog/20/40511idc_japan.html

Nutanix社の提供するHCI



Run Any Application at Any Scale

あらゆる規模であらゆるアプリケーションを実行できる
ソフトウェア定義のエンタープライズクラウドをお届けします。

HCI世界No.1シェア



Nutanix社は、アプリケーションやサービスに集中できるインフラを提供しています。

16,580+ のお客様

顧客契約更新率 97%

創業 2009年
 製品出荷 2011年
 NASDAQ 2016年上場
 G2K customers 910
 年間成長率 43% ※Billings
 6年間平均して NPS +90

Gartner Peer Insightsにおいて

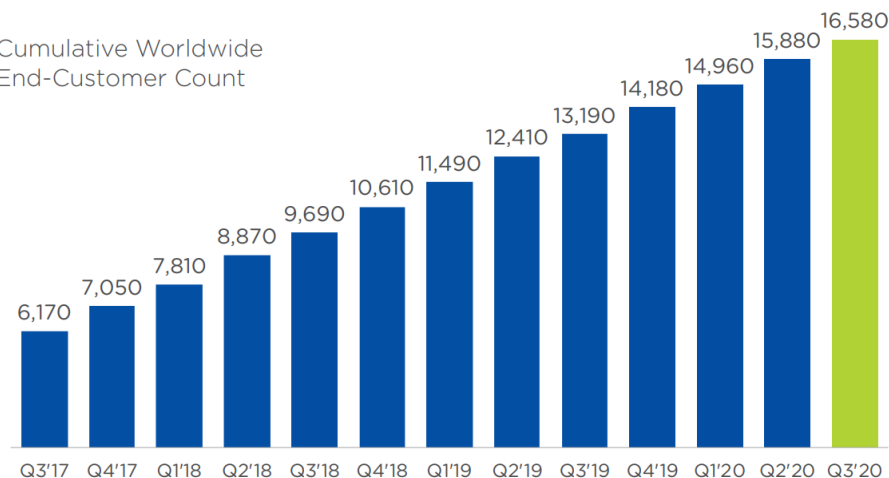
「顧客が選ぶハイパーコンバージドインフラストラクチャベンダー」に2年連続で選出

<https://ir.nutanix.com/company/financial/default.aspx>

2020年4月時点

Q3'20 Highlights

Cumulative Worldwide
End-Customer Count



Globalでの顧客数

Nutanixの目指す「WebスケールIT」

巨大化、複雑化する企業のITシステム環境の課題を打破するものとして「WebスケールIT」という考え方が注目されています。WebスケールITとは、クラウド・サービス・プロバイダーに共通してみられるクラウド特有のアーキテクチャによる分散システムで、高度に自動化された運用管理により、システム規模の拡張にも、負荷を最小限に抑えることがクラウドネイティブな方式。

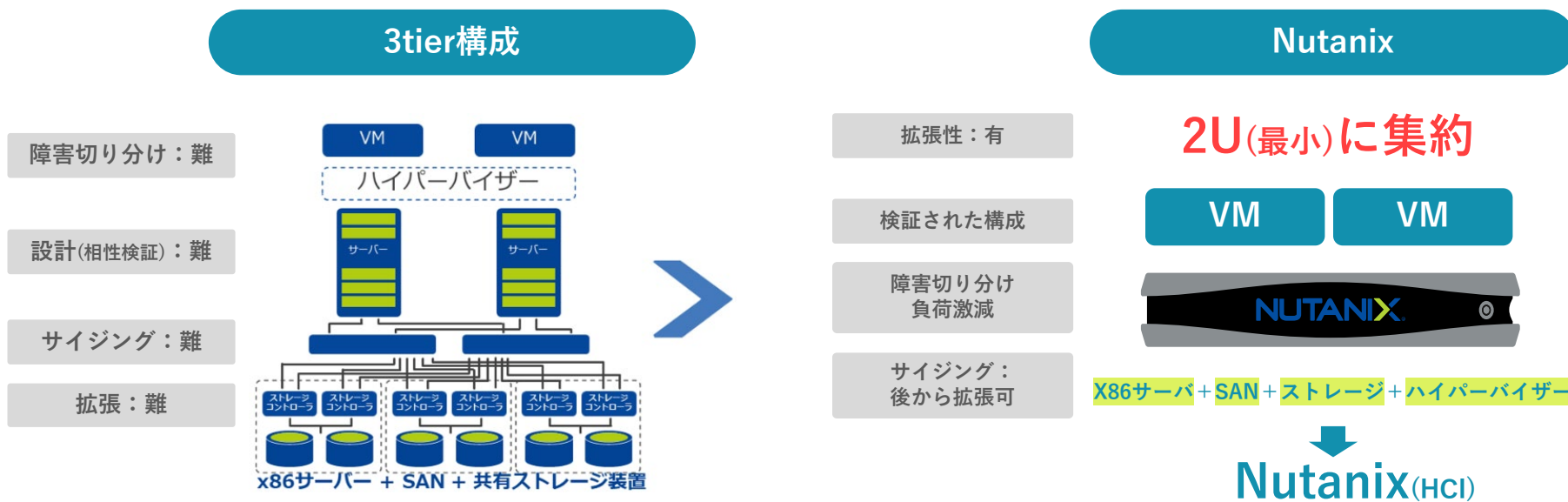
Design Goals

- 単一障害ポイントがない
- リニアにスケールアウトする
- 障害が発生しても自動修復できる
- 全てがオンラインでアップグレードできる
- 特別なツールが必要ない

Nutanix社のHCIとは

運用負荷削減・ラック削減によるコストカット効果

Nutanixは、従来の3tier構成に見られたSAN(Storage-Area-Network)を排除し、サーバとストレージが一体となったシンプルな構成を実現。サーバ/ストレージ/ネットワークとレイヤーをまたいだ複雑な構成から解放されます。



運用負荷の軽減

SANに依存しない拡張性

SAN不要の仮想化基盤

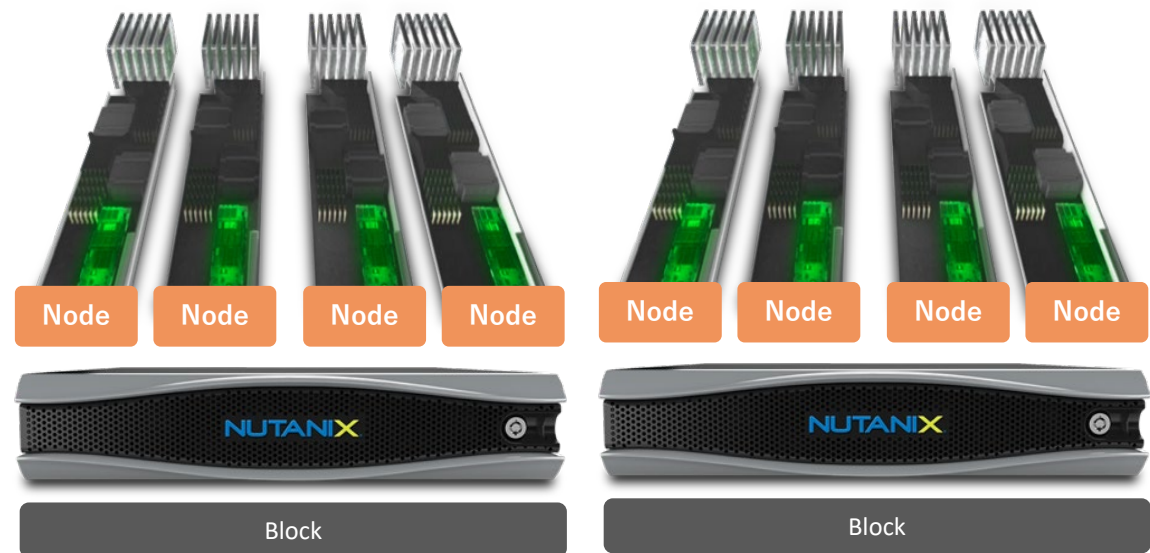
Nutanixは、障害対応や管理の複雑なSANが存在しないシンプルな構造のため、管理スキルが不要となり、運用の負荷が軽減されます。

「Simple Explanation of How Nutanix Works」

サーバとストレージが一体型となったNutanixがどのように機能するかを、動画で分かり易く説明しています。(英語)

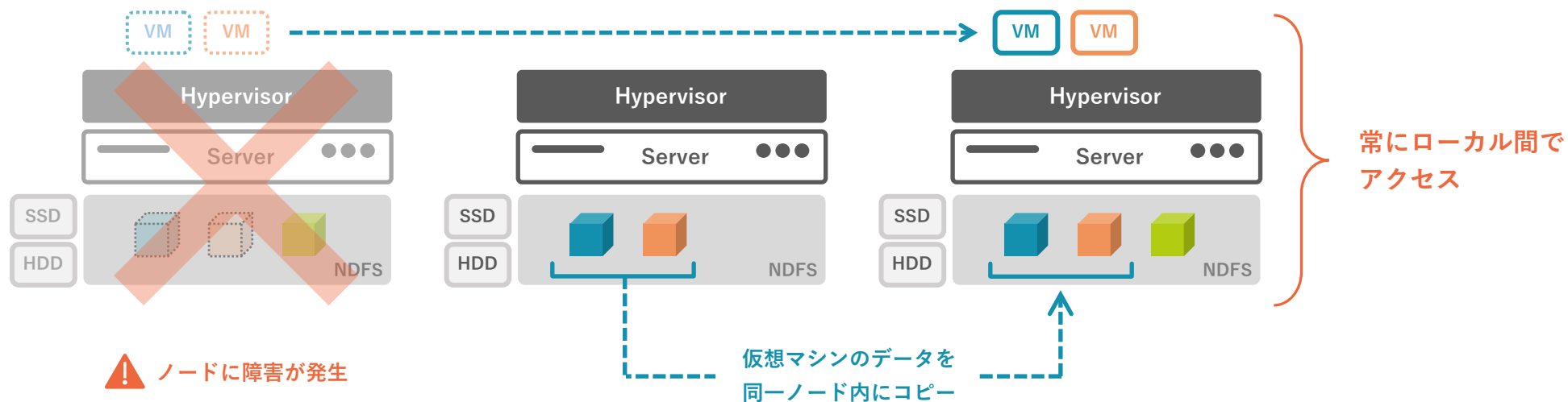
<https://www.youtube.com/watch?v=wfFuohZwi5Q>

Nutanix Distributed File System



高いIOPSを実現

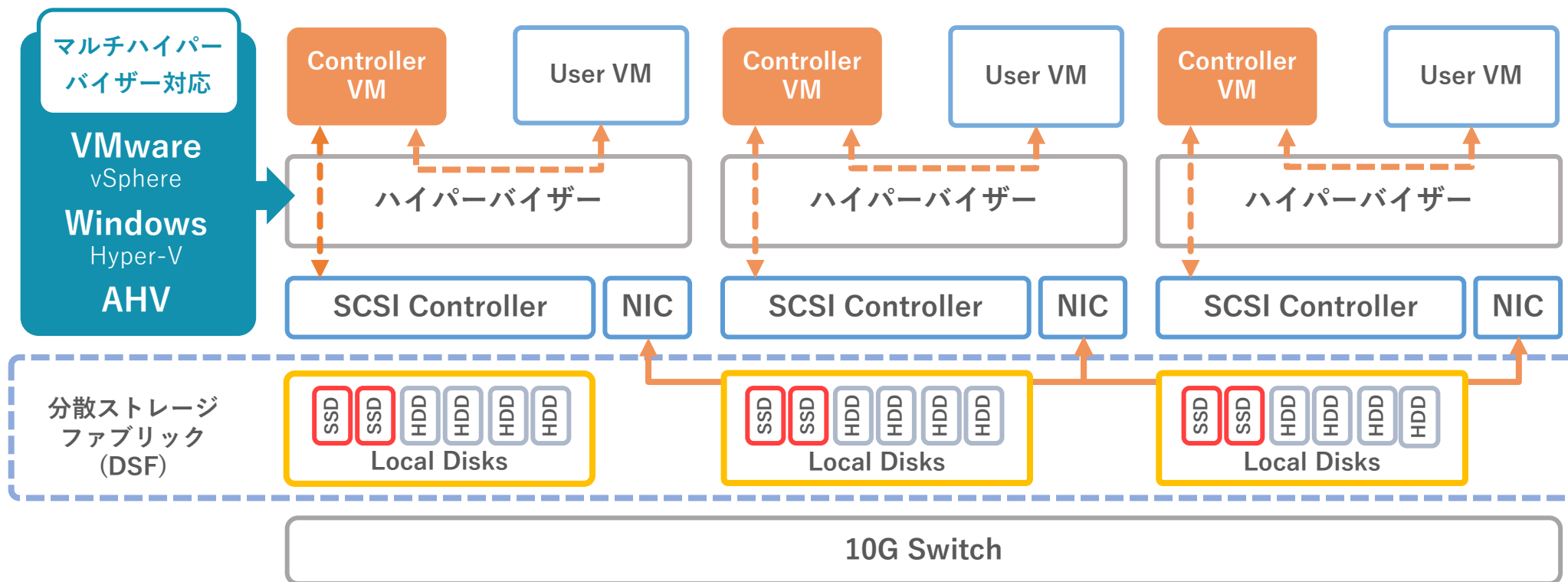
常にローカルでアクセスする、Nutanix独自の『データローカリティ』技術により、ハイパフォーマンスを実現しています。



ノードに障害が発生した際も、仮想マシンと同一のノード内に自動でデータコピーが作成されます。
データを常に同一のノードから読み書きをすることにより、
ノード間のイーサネット遅延をも許しません。Nutanixの特許技術です。

アーキテクチャ

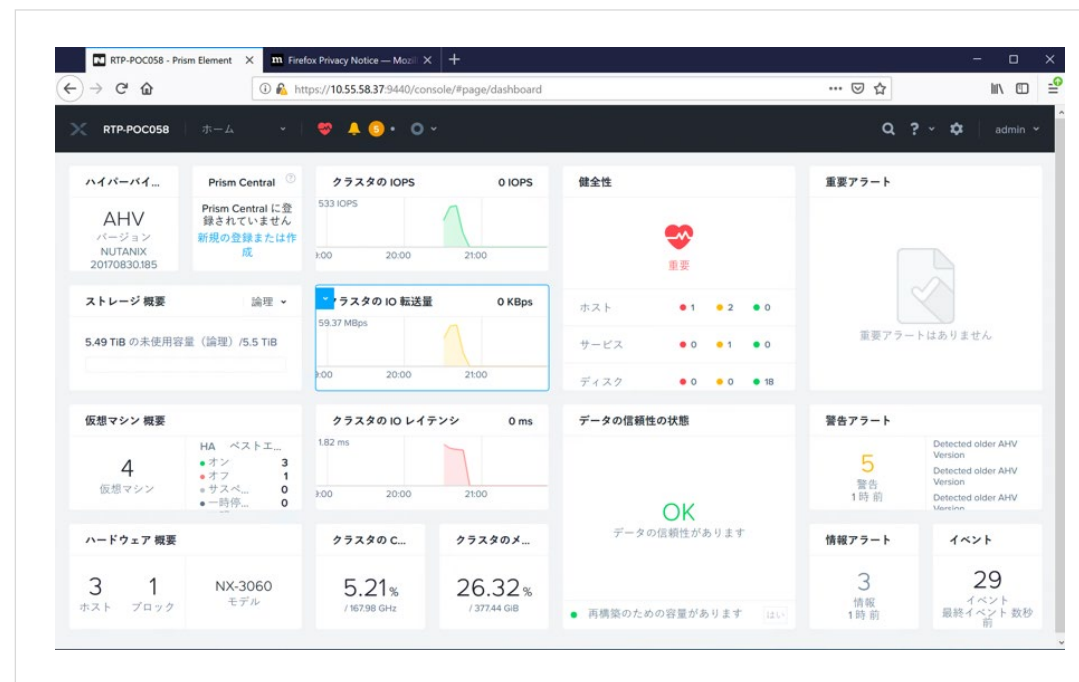
- 最小構成は3ノード(3ホスト)
- 各ノード(ホスト)毎にController VM(CVM)が配置されています。
- CVMが互いに通信し、1つのストレージ領域を構成しています。
- CVMの役割は統合管理サーバであり、ストレージコントローラーです。



インフラの統合管理ツール 『Prism』

ワンクリックで簡単操作。
あらゆる仮想環境をシンプルに管理。

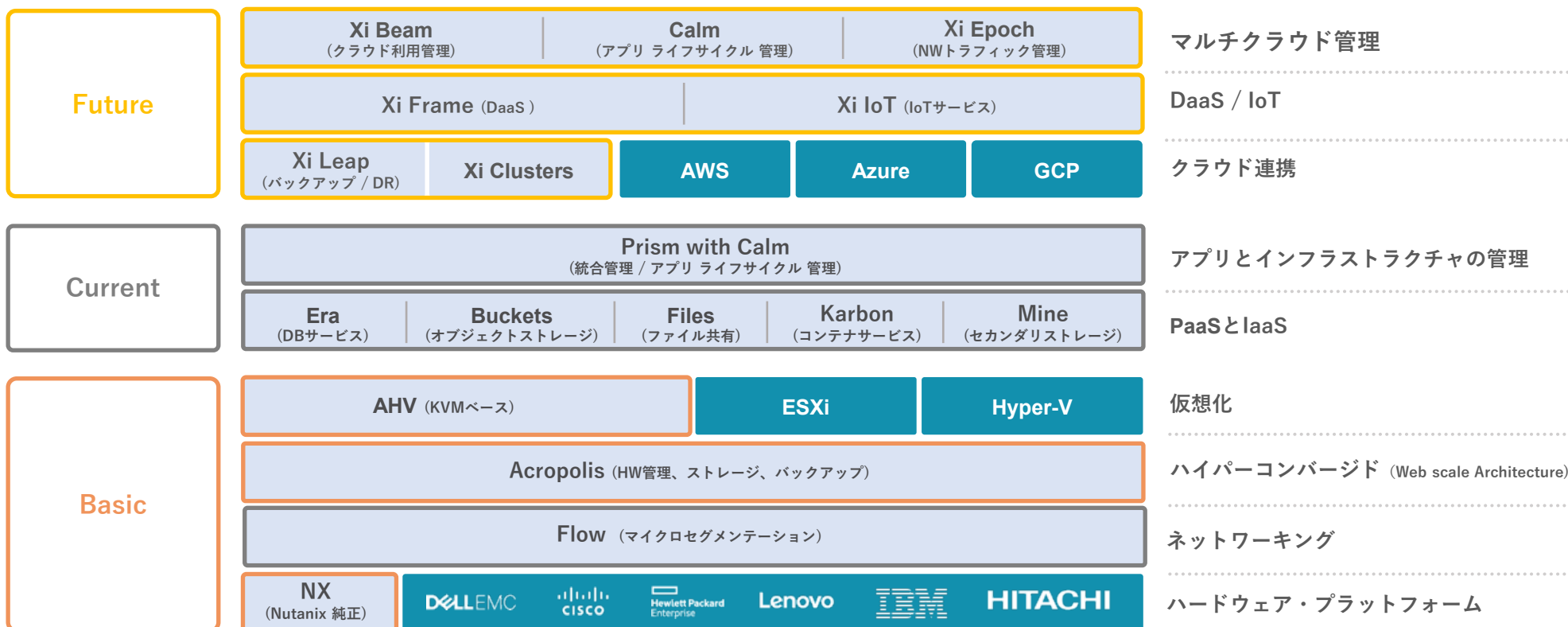
Prismは、Nutanixだけでなく異なるハイパーバイザーなどマルチベンダーの製品を、1つの画面で簡単に管理することができるツールです。直観的に操作できるシンプルさで、手間のかからない管理を実現。扱いやすく、実際に導入されたお客様からも高評価です。



Prismメニュー画面

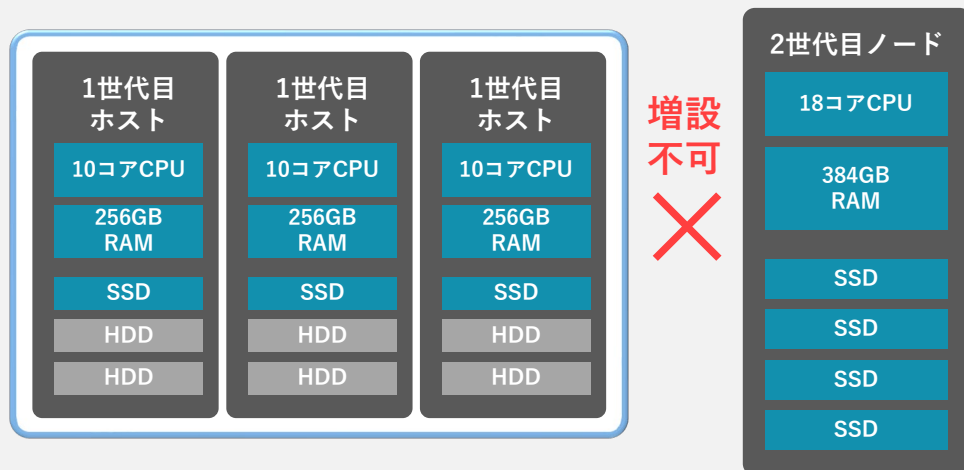
HCIから進化をするポートフォリオ

オンプレミスの単なる代替ではなく、オンプレミスとプライベートクラウド、パブリッククラウドをシームレスに利用できるマルチクラウド環境に対応しています。



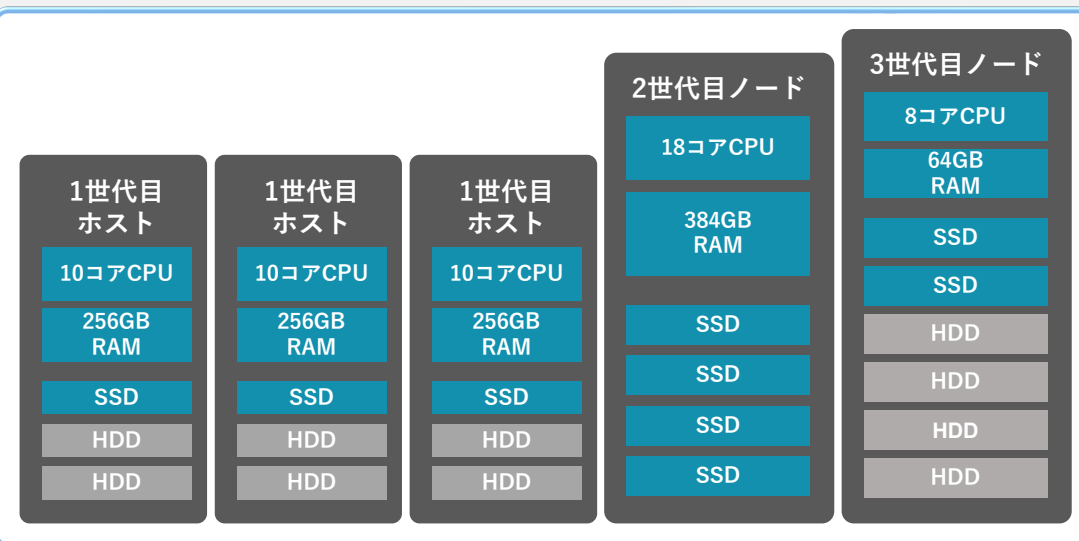
Nutanixなら、モデルや世代にとらわれず継続利用が可能です。

他社ハイパーコンバージドインフラ



- ・ 同一構成、同一モデル、同一世代での組み合わせが原則
- ・ 増設が必要となった場合は新規クラスタでの別構築
- ・ ライブマイグレーション構成時はCPU世代の設定が必要

⚠ ビジネスの変化に合わせた基盤拡張が困難

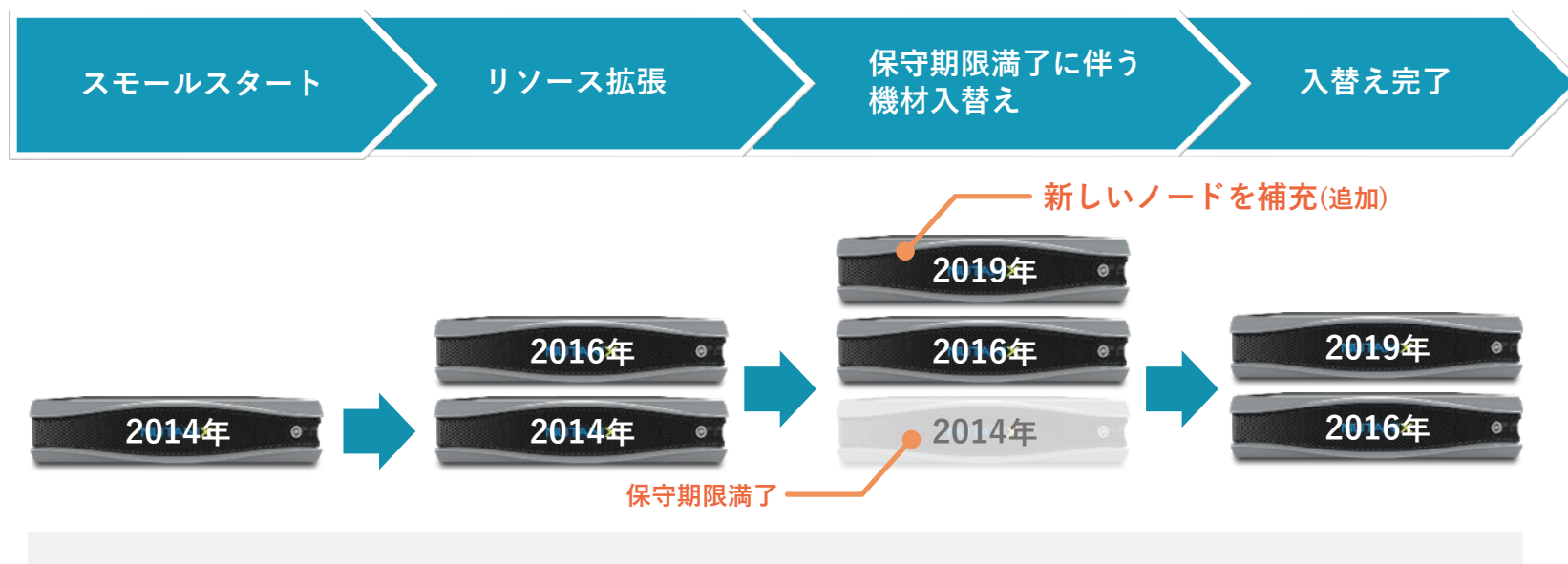


- ・ 構成・モデル・世代の混在クラスタに完全対応
- ・ 内部のバランシングは自動で実行
- ・ AHVではCPU世代間の移行も自動設定

ビジネスの変化に即時対応可能
将来的な機器更新時のインパクトも低減

更改案件も無停止かつシンプルに。

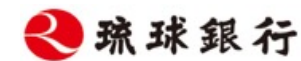
機器更改も、新規ノードを追加し保守期限満了機器を取り外すため、VMは無停止で作業が完了します。
基盤更改の負担が大幅に軽減されます。



- 仮想化基盤の一斉更改が不要
- クラスタからの取り外し操作はGUIで2クリック
- データやVMの手動移行作業が不要
- VMは無停止で作業完了

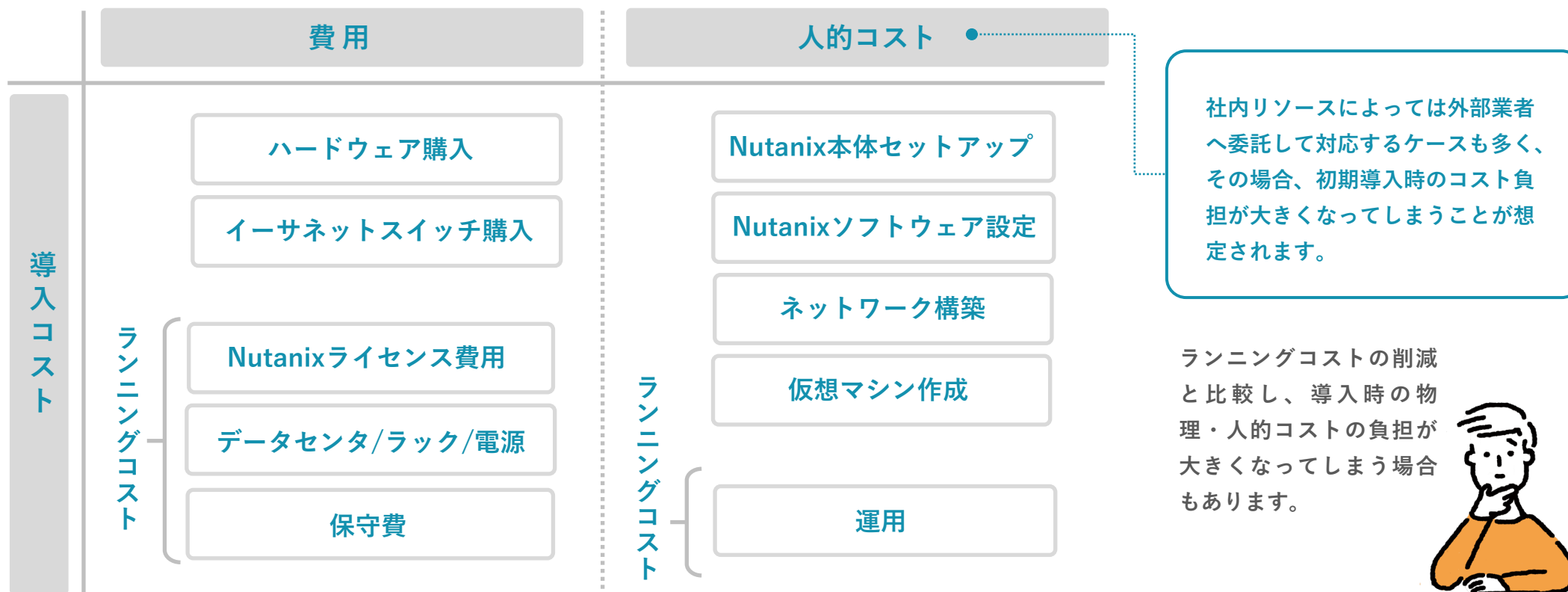
国内約900社の導入実績

金融を始め、製造、流通、医療、文教、官公庁、自治体、サービスプロバイダまで、あらゆる業種・規模のお客様がNutanixを採用しています。 ※2020年1月時点



Nutanix自社導入時にかかるコスト

Nutanixを導入した場合、その後の運用がとてもシンプルになり、中長期で考えたときのIT管理・運用にかかるコスト負担は減少します。
 ですが、自社で購入した場合、初期導入時のコストが高価になりがちなのが課題としてあげられます。



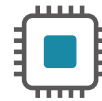


Nutanixの利用に必要な要素が、オールインワン。

様々な情シス部門・ITインフラエンジニアのお悩み・課題を
Clara Cloudの導入によって解決することが可能です。



保守/運用



ハードウェア/ライセンス



データセンタ/ラック/電源



ネットワーク



月額サブスクリプション

— HCI as a Service —



Clara Cloudは、オンプレミスベースのためクラウドよりも移行コストが低く、高いIOPSを実現するハイパフォーマンスで拡張性が売りのNutanixを、初期費用0円の月額サブスクリプションでご提供する新たな仮想化基盤です。

Clara Cloudの特徴



移行コストが低い

オンプレベースのため、
既存オンプレサーバからの移行がスムーズ



ハイパフォーマンス

サーバ／ストレージ／SAN一体型で高いIOPSを実現



高い拡張性

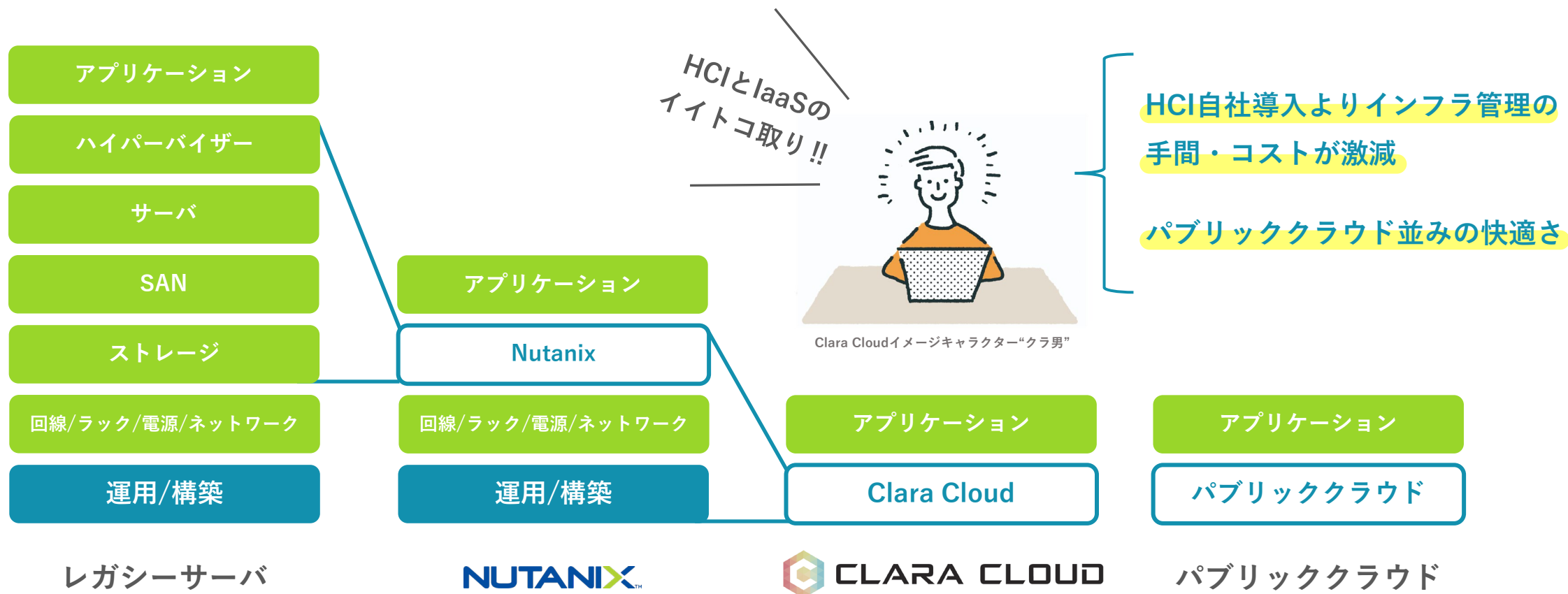
ノードを差すだけでリソースが簡単に増強可



初期費用0円／ 月額サブスクリプション

月額のサブスクリプション方式でハードの購入も不要

コンポーネント比較



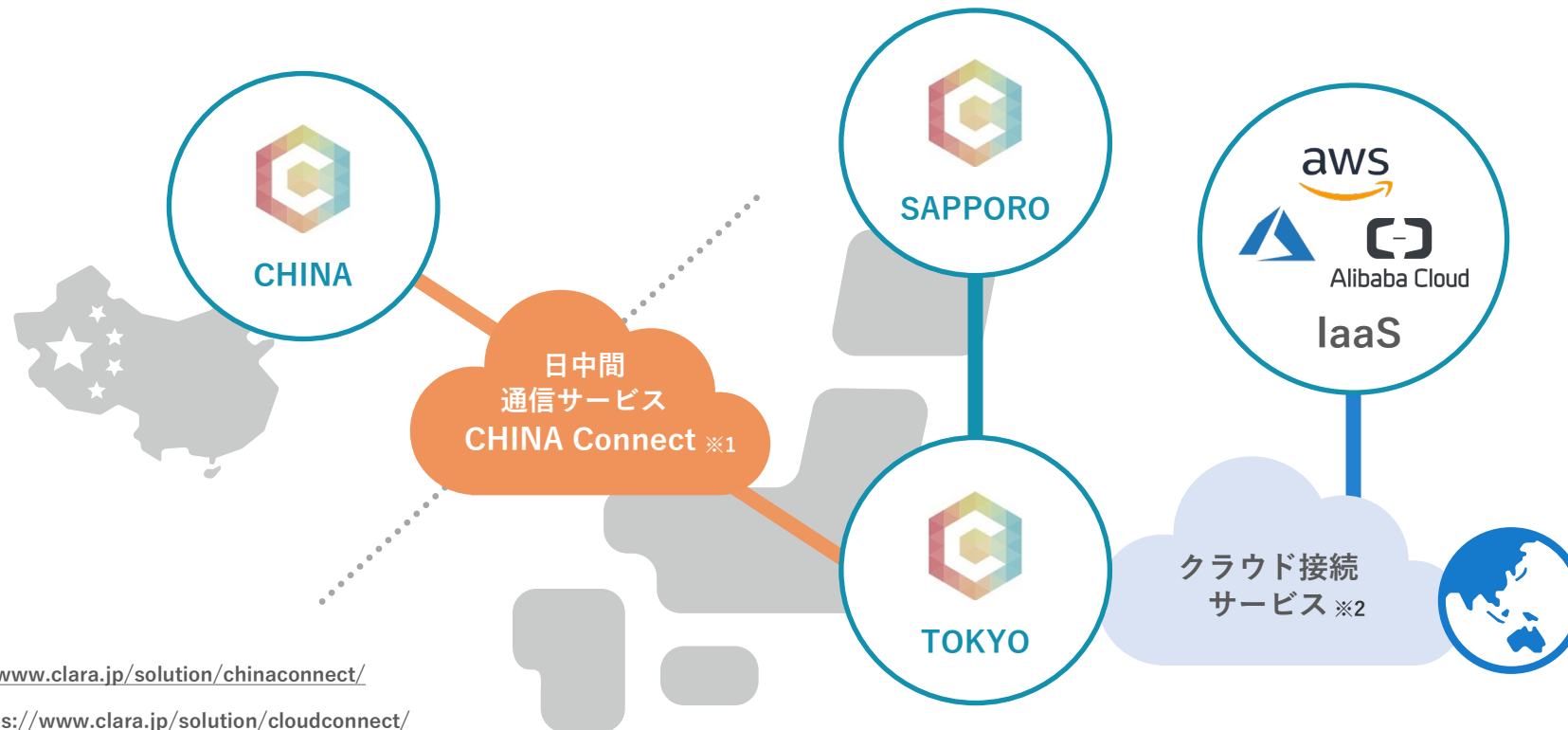
オンプレ VS IaaS VS Nutanix VS Clara Cloud

	オンプレ (x86サーバ)		IaaS		オンプレ (Nutanix)		Clara Cloud	
納期	それぞれ異なる	×	数分	◎	1か月程度	×	2-3営業日 ※1	○
初期費用	高額	×	無償	◎	高額	×	無償	◎
ランニング費用	固定費	○	従量課金	△	固定	○	固定	○
カスタマイズ	自由	◎	制限あり	△	自由	◎	自由	◎
自社他システムとの連携	行いやすい	◎	制限あり	△	行いやすい	◎	ネットワーク経由	○
既存環境からの移行	容易	◎	手間がかかる	△	容易	◎	容易	◎
冗長化	費用増	×	容易 ※2	◎	同一クラスタ内冗長	○	同一クラスタ内冗長	○
拡張性	各コンポーネントごと 要検討	×	追加購入が容易	◎	ノード追加で容易	○	ノード追加で容易	○
構築	各コンポーネントごと サイジング & 構築	×	トレーニングが 必要	△	ハイパーバイザーまで 設定済み	◎	ハイパーバイザーまで 設定済み	◎
管理/運用	自社/個別SI	×	IaaS側で 実施	○	ソフトウェアにて ある程度簡略化	△	クララにて実施	○

※1 LGプランの場合
 ※2 各クラウドサービスによって異なります。

お客様のご利用状況に応じて、ハイブリッドクラウドでのご提案をいたします。

Clara Cloudで描くハイブリッドクラウドネットワーク



※1：CHINA Connect <https://www.clara.jp/solution/chinaconnect/>

※2：クラウド接続サービス <https://www.clara.jp/solution/cloudconnect/>

本資料P38にて詳細をご覧ください。

LGプラン(共有)

LGプランはNutanixサーバを1台からご利用いただけるプランです。共有環境を使用することにより、低価格でハイパフォーマンスなHCIを利用できます。初めはコストを抑えて、シンプルに使いたい方におすすめです。

プラン名		LG200	LG400	LG800	LG1600
初期費用		40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
月額		25,000円	40,000円	60,000円	100,000円
HW スペック	vCPU	2Core	4Core	8Core	16Core
	MEM	4GB	8GB	16GB	32BG
	HDD	100GB	100GB	100GB	100GB

標準仕様	
最低利用期間	課金開始日より3ヶ月間
提供OS	CentOS7 / Windows2016から選択
インターネット接続	1Gbpsベストエフォート回線
IPアドレス	グローバルIPアドレス1個
可用性	物理レイヤーはすべて冗長
データ保護	日時スナップショット3世代
監視運用	ネットワークの疎通監視(Ping)とOS再起動対応

オプション	
ディスク追加	100GB単位
サーバ管理	リソース監視、Webサイト監視、遠隔バックアップ
セキュリティ	Firewall, WAF

専有プラン

Nutanixを3ノードからご利用いただけます。お客様専用のクラスタのため、利用用途に合わせてカスタマイズできる自由度が高いプランです。パフォーマンスを求める方におすすめです。

プラン		ライトプラン	スタンダードプラン		ハイエンドプラン	
			標準	ディスク増量	標準	ディスク増量
HW スペック (3ノード)	vCPU	48core	48core	48core	96core	96core
	MEM	768GB	1,536GB	1,536GB	1,536GB	1,536GB
	SSD/HDD	14.4TB	28.8TB	57.6TB	28.8TB	57.6TB
仮想マシンの 実質割当可能 リソース (3ノード)	vCPU	216core	216core	216core	456core	456core
	MEM	448GB	960GB	960GB	960GB	960GB
	SSD/HDD	4.8TB	9.6TB	19.2TB	9.6TB	19.2TB

標準仕様	
最低利用期間	課金開始日より6か月間
ハイパーバイザー	AHV無償
コントロールパネル	Prism管理者権限
IPアドレス	グローバルIP /27割当（弊社管理用IP含む）
Acropolis Pro	無償提供

サポート	
テクニカルサポート	平日9:30-18:30
障害対応	24時間365日
バージョンアップ	必要に応じて適宜対応

※ご要望を詳細にお聞きした上でお見積りをご提示させていただいております。お気軽にお問合せください。
※ライトプランはノード単位のリソース追加が出来ない仕様となっております、予めご了承ください。

オプション

ベーシックな運用監視などのメニューはもちろん、移行や、ハイブリッドクラウド化など、お客様のご要望に合わせた柔軟なオプションメニューをご用意しております。



IPアドレス追加(/27)

サーバ既存のIPアドレス以外に別途IPアドレスを追加いたします。



VMイメージバックアップ(外部)

複数のバリエーションを用意することで、お客様のニーズに合ったバックアップスケジュールをご提供いたします。



MSPサポートプラン

24時間365日、お客様に代わってサーバの監視や復旧対応を行います。



移行サポート

サーバ移行の際に必要なデータや設定の移行を代行いたします。

Web攻撃遮断サービス

攻撃遮断くん

導入社数/導入サイト数 国内NO.1の「攻撃遮断くん」で高セキュリティを実現します

「攻撃遮断くん」は、クラウド型のWAF（Web Application Firewall）製品です。WebサイトやWebサーバへの攻撃を遮断し、情報漏えい、Web改ざん、サーバダウンを狙った攻撃などの脅威から、企業とユーザーを守ります。

提供：株式会社サイバーセキュリティクラウド

特徴

国産WAFサービス

全て日本での自社開発 | 日本でのセキュリティ情勢に合わせたサービス

24時間365日のサポート

迅速な脆弱性への対応 | 日本人による日本人のためのサポート対応

サイバー保険の標準付帯で安心

10Gbps以上のDDoS/ゼロデイ攻撃の被害に対応 | 補償は最大1,000万円

プラン

DDoSセキュリティタイプ (500kbps)

DDoSセキュリティタイプ (2Mbps)

DDoSセキュリティタイプ (5Mbps)

DDoSセキュリティタイプ (10Mbps)



追加オプション (有料)

月次レポート発行

FQDN変更

注文書およびヒアリングシートを受領後、5営業日程度でご利用開始できます。
FQDN変更も5営業日程度で変更完了します。

【注意事項】 最低利用期間は1カ月になります。

Clara Cloud Firewall-G1

(専有プラン向け)

高い耐障害性とセキュリティレベルの高い環境の要求にも答える安心のFirewall

Clara Cloud専有プランで提供するクララオンラインの仮想アプライアンス型マネージドFirewallサービスを用いており、高い耐障害性を確保しています。UTM版も提供しており（IPSプラン）セキュリティに関する要求レベルの高い環境にも対応しています。VDOMを最大9つまで作成する事が出来る為、複数のマルチテナント環境をClara Cloudに集約する事も容易です。障害対応：24時間/365日

特徴

耐障害性の高さ

仮想アプライアンスのため物理障害がありません。

高いセキュリティ要求の環境に対応

UTM版があるため高セキュリティな環境にも対応可能です。

マルチテナントに最適

VDOMを最大9個利用可能で複数環境の使い分けにも最適です。

プラン	内容
Clara Cloud-Firewall-G1 +Clara Cloud-VDOM-G1※	IPアドレスとサービス(ポート)を組み合わせたスタティックなパケットフィルタをご提供します。
Clara Cloud-Firewall-G1-IPS +Clara Cloud-VDOM-G1※	Clara Cloud-Firewall-G1プランに加えIPS(侵入防止)機能を標準提供します。

※Clara Cloud-VDOM-G1部分は仮想Firewallで最大8個追加可能です。

- 【注意事項】
- ご契約のClara Cloud上のVMマシンとして提供するため、当該クラスタのリソースが消費されます。(目安：1vCPU, 2GBMEM)
 - ネットワーク設計に関わる構築費用については別途御見積りとなります。

Clara Cloud LoadBalancer-G1

(専有プラン向け)

各サーバへのアクセス負荷をL4/L7レイヤーで分散制御するマネージドロードバランサ

Clara Cloud専有プラン上で各サーバへのアクセス負荷を分散制御するロードバランサの導入・設定・監視・障害対応までを、お客さまに代わってクララオンラインが運用するサービスです。仮想アプライアンス型ロードバランサを用いており、高い耐障害性とリソース拡張などの柔軟性を確保しています。SSLによるデータの暗号化・復号化処理をロードバランサに集約させることで、お客さまのサーバを過負荷から守り、大幅な処理速度アップを実現します。障害対応：24時間/365日

特徴

マネージドロードバランサ

煩雑な障害対応や設定変更は当社にて実施。
専門性の必要な機能に関する相談や構成検討のご相談も承ります。

仮想アプライアンス

仮想インスタンスとして提供される為、耐障害性に優れリソースの拡張も対応可能。
柔軟な運用を実現します。

SSLアクセラレーション対応

SSLによるデータの暗号化・復号化処理をロードバランサに集約させることで、
サーバのパフォーマンス向上を実現します。

プラン

Clara Cloud-LoadBalancer-G1-200M

Clara Cloud-LoadBalancer-G1-1G

想定されるスループットの上限値に合わせた最適なプランをご提案致します。

【注意事項】

- ご契約のClara Cloud上のVMマシンとして提供するため、当該クラスタのリソースが消費されます(目安：4vCPU,32GBMEM程度)
- ネットワーク設計に関わる構築費用については別途御見積りとなります

クラウド接続サービス

パブリッククラウドとClara Cloudを接続し、シームレスなハイブリッドクラウド環境をご提供

アマゾン ウェブ サービス (AWS)などのパブリッククラウドとClara Cloud DCとの閉域網を、お客様に「共用型回線」としてご提供します。お客様側で個別の回線手配や機器設置をすることなく、オンプレミスと同様のハイブリッドクラウド環境を実現します。1本の物理回線を論理分割し、複数のユーザーにご提供する共用型のため、費用をおさえたサービス提供が可能です。

特徴

安価かつ短納期

自社DCで専用線を引くのに比べ、安価に利用可能です。

短納期

専用線開通の工事等が不要な為、短期間で開通可能です。

ワンストップサービス

ハイブリッドクラウド環境をワンストップでサポートします。

対応クラウドサービス



NIFCLOUD
ニフクラ



移行サポートサービス

1,000台規模のサーバをNutanixに移行した実績を持つ当社が、計画・提案・実行まで移行をトータルサポート

データセンタの移設・統合や複数のクラウド環境の統合は、データの破損防止・出来るだけ短いサービス停止時間・移行自体のコストの最適化・移行作業に関わる人員の確保など、様々な検討項目を考慮する必要があります。一方、移行後のコスト削減を確実なものとするためには、その移行作業全体の採算性に関する検討も重要です。古くなったOSバージョンのマイグレーション、現有資産の活用を含め、豊富な実績を持つクララオンラインだからこそ提案ができるインフラの最適化があります。計画立案から移行作業、そしてその後の継続的な運用まで、まずはクララオンラインにご相談ください。

特徴

国内最大級の移行実績

1,000台規模の自社サーバを、全てNutanixに移行した実績。

影響を最小限に

サービス停止時間の最小化の為、複数のソリューションをご提案。

ハイブリッドクラウド推進

移行と同時に一部をクラウド化等のご要望にも対応可能。

豊富な移行実績（一例）

BtoBtoC型Webサービス	社内インフラとWebサービスに利用しているインフラほぼすべてを移行
全国規模の美容クリニックグループ	電子カルテインフラと社内基盤システム用インフラ移行
ゲームプラットフォームの構築	短期間での構築(1ヶ月)、Web・DBサーバあわせて100台以上の構成(中国での展開)
メッセージングサービス・Webサービス	40万人以上へのプッシュ通知の配信・同時Webアクセス数6万人以上
レガシーシステムの移行	Solaris 8 からCentOS6 へのマイグレーション作業
医療系クラウドシステム	プライベートクラウド環境構築(仮想サーバ100台程度)
グローバルな動画配信	GSLB環境の構築・中国での動画配信・高精度な接続元地域別のIPアドレス情報の作成

その他、ご興味のある方はお問い合わせください。事例をご紹介します。 <https://cloud.clara.jp/inquiry/>

導入事例

Clara Cloudを導入された企業様の事例を一部ご紹介いたします。

CASE 1

電子カルテのプラットフォームとして

ライフサイエンス コンピューティング株式会社



医療

クラウド

オープンソース

導入効果

- ・ レギュレーションが厳しい医療業界向けにクラウドサービスを提供
- ・ Clara Cloudによりシステムパフォーマンスの改善と操作性の向上を実現
- ・ キャパシティ追加縮退が複雑度をあげることなく実現できる環境に
- ・ 基盤ソフトウェアの無停止アップデートに保守範囲で対応

ダウンロードはこちら ▶ <https://go.clara.jp/clara-cloud/case01>

CASE 2

働き方改革の実現に！VDI基盤として導入

日本電算企画株式会社



DVI

クラウド

働き方改革

導入効果

- ・ クラウド基盤でのVDIトラブルを解消しスムーズな接続を実現
- ・ 20台以上のオンプレサーバを移行、システム部の運用負担軽減に成功
- ・ 従来のオンプレサーバリプレイスと比較し、コスト削減に成功
- ・ 特殊なネットワーク要件も導入時サポートで問題なく実現

ダウンロードはこちら ▶ <https://go.clara.jp/clara-cloud/case02>



こんな方におすすめです！

！ 従来のオンプレ形式から
大幅に仕組みを変えたくない
/変えられない方

！ 頻繁にI/Oが発生する
システム構築をお考えの方

！ VDIのように段階的な
需要拡大が見込まれる
システム構築をお考えの方

！ ハイスペックな
サーバリソースが欲しい方

！ 従来型の“5年一括”での
費用計上が難しい方

！ 頻繁なバージョンアップ
などの運用をお任せしたい方

！ ネットワーク/セキュリティ部分
含め運用をお任せしたい方

！ Nutanixを使ってみたい方

会社概要



企業理念
- Clara Philosophy -

次の時代を道づくる

社 名 株式会社クララオンライン
CLARA ONLINE, Inc.

設 立 1998年5月22日

資本金 1億円

代表者 代表取締役社長 家本 賢太郎

所在地 東京(神谷町・三田)・名古屋

事業分野

- ・ インターネットサービス基盤事業
- ・ ビジネスコンサルティング事業
- ・ 有料職業紹介事業（許可番号：13-ユ-306859）

従業員数 単体:51名、連結:167名（2020年4月30日現在）

関連会社

客乐来技术咨询(北京)有限公司
(クララオンライン中国)

株式会社スポーツITソリューション

セイノーアジアトレーディング株式会社

株式会社Sports SNACKS

自転車投資合同会社

株式会社ちゃりカンパニー

neuete株式会社

wimo株式会社

ご相談・お問合せ・お申込み

株式会社クララオンライン

クロスボーダービジネス部

メール

sales@clara.ad.jp

お電話

0120-380-966

受付平日 10:00 - 18:00



Clara Cloud

<https://cloud.clara.jp/>